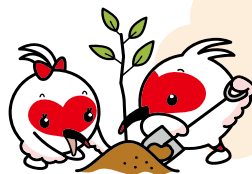


6. 新潟県の林業



わたしたちの身のまわりには木からつくられたものがたくさんあるよね。これを生み出す森林にはどんな働きがあるのかな。

① 森林にはどんな働きがあるの？

森林は、家や机などの材料となる木材や食用となるきのこなどを生産する林業の仕事場になっています。

また、雨をたくわえて少しずつ川へ流す「自然のダム」になって、洪水や山くずれをふせいだり、

地球温暖化の原因となる二酸化炭素を吸収し酸素を出したり、レクリエーションの場としてやすらぎをあたえてくれたりします。

森林は、わたしたちのくらしを守るための大切な働きをもつ、なくてはならないものです。



森林の主な働き



▲「レクリエーションの場」
としての働き



▲「自然のダム」や「空気をきれいにする」
働き



▲「木材生産」の働き

森林散策などの活動の場として利用されている

雨をたくわえて、洪水や山くずれをふせいだり、二酸化炭素を吸収し酸素を出したりする

家や机などの材料を生産する

② 新潟県の森林のようすはどうなっているの？

新潟県全体の面積の68パーセントが森林です。森林は、人の手で苗木を植えた人工林と自然のままの天然林に分けられます。新潟県では、人工林が少なく、天然林が多くなっています。

人工林の大部分は、スギやマツなどの針葉樹が植えられています。

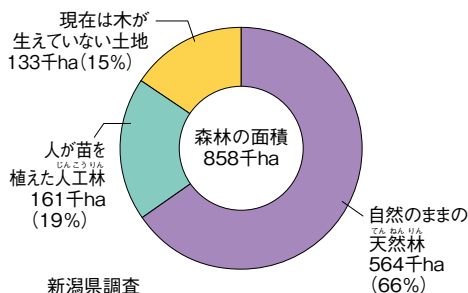


▲人工林(スギ林)



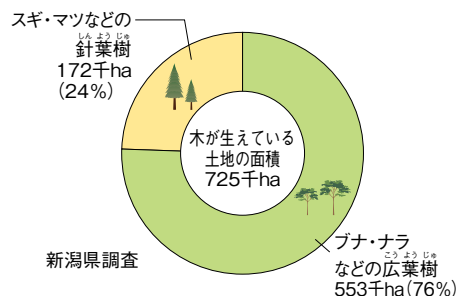
▲天然林(ブナ林)

●新潟県の森林の面積(2024年、令和6年)



●木の種別面積(2024年、令和6年)

※左記のグラフから「現在は木が生えていない土地(133千ha)を除いた森林の面積を木の種別に分けた面積

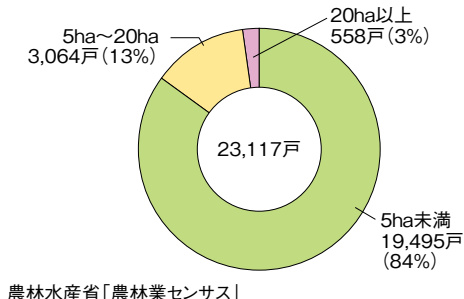


③ 新潟県の林業のようすはどうなっているの?

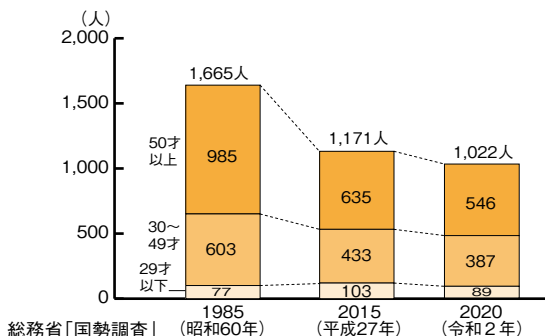


1ha以上の森林をもっている家は県全体で約2万戸ですが、1戸当たりの面積は全国と比較して小さいです。
また、林業を仕事にする人は減っています。

●森林をもっている家の規模別戸数(2020年、令和2年)



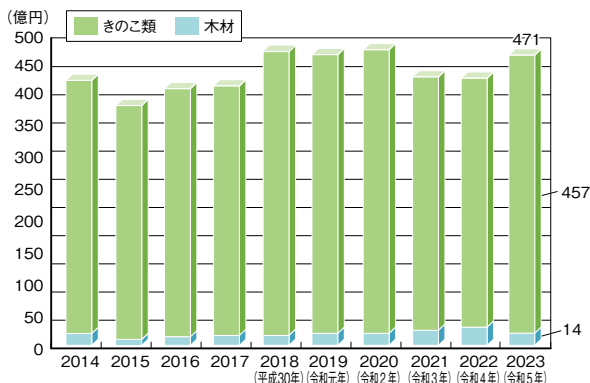
●林業を仕事にする人数の移りかわり



林業生産額のうち、97パーセントが「えのきたけ」や「しいたけ」などのきのこ類で、全国2位の生産量です。

県内で使用される丸太の約62%が県内のスギ林から切り出されています。

●新潟県の林業生産額の移りかわり



●新潟県で必要とされる木材の量(丸太需要量)(2024年、令和6年)

